

第2回「これからの神戸の学校教育に関する有識者会議」意見要旨

1. 日 時：令和5年12月25日（月）13:00～14:40
2. 場 所：教育委員会事務局 教育委員会会議室
3. 意見要旨：

■議題1 児童生徒・保護者アンケートの集計結果について

- ・教育ビジョンや基本政策にも参照すべきものである。
- ・大規模なアンケートであり、大変参考になる。教育振興基本計画策定に係る議論だけでなく、今後、様々な場面で活用すべきである。

■議題2：次期神戸市教育振興基本計画について

(1) 第1回会議の振り返り

- ・意見、質問なし

(2) (仮)教育ビジョンについて

※議事の冒頭、オブザーバーの教職員より教育ビジョンに関する意見を発表後、委員による意見交換を実施。

○オブザーバーの意見

- ・「夢」という言葉が大切なキーワードだと考えている。教育ビジョン案に「未来をつくる」という表現があるが、未来は夢につながるものであり非常によい。「自ら学ぶ」についても、夢があれば「自ら学ぶ」ことになり、イメージがつながる。
- ・「支え合う」という言葉も、「人を大切にする」「人を頼る・人に頼られる」ということを通じて自己肯定感・自己有用感につながるものであり非常によい。
- ・自分の意見を発する、他の意見を認めるという点で「自律と協調」が大切である。
- ・教育は未来への投資である。神戸の地域を含め、みんなが受益者である。学校だけではなく、地域全体で子供たちを育てていくという観点から、いわゆる「開かれた学校づくり」や「みんなで支える」という言葉が入った方がよいのではないか。
- ・外国人を含め多様な子供たちが増えている。マイノリティを弱みと考えるのではなく、強みになるような、多様性がレジリエンスになるというニュアンスのフレーズが入るとよい。
- ・特別支援学校の子供は、自己肯定感が低い子供が多い。自分を認め、相手を認めるということが自己肯定感につながる。教育ビジョン案の中に、「自他を大切に」や「みんなで支え合い」といったフレーズが入っているのはとてもよい。

○委員意見交換

- ・良い案が挙がっている。案1、案2は「未来をつくる」という言葉が印象的。アンケートで「主体的な学び」がもっと上位に上がっていれば良いなと思った。「自ら考え」

というのもよい。神戸らしさが表現されているとなおよい。

- ・他都市の事例で最も良いと思ったのは、千葉市の教育目標である。(自ら考え、自ら学び、自ら行動できる力をはぐくむ)。教育ビジョンの切り口として「個人のアイデンティティ」に切り込んでいった方がよい。
- ・社会の変容は速い。5年前、10年前のビジョンと同じような文言が並ぶのはどうかと思う。子供たちに今の時代を考えさせるようなものであるとよい。
- ・いろいろな子供がいるということを踏まえなければならない。保護者アンケートで「豊かな心」が上位にきていることを鑑みれば、「自他を大切に」「認め合う」というニュアンスの入った案1、案2がよいのではないか。
- ・アンケートの自由意見では、「一人ひとりに合せて」等の個別最適を志向する意見がある一方で、「みんなとの関わり・社会との関わりの中で育って欲しい」という意見もある。これらのバランスを取った文言になるのではないか。
- ・案4がよい。これからの社会には正解がない。今までのように、学校で教わったことを再生しているだけではいけない。「探究」という言葉が重視されているように、みんなと一緒に探し、答えを探っていく、最後は自分で見つけるということが重要である。
- ・神戸の教育が目指す人間像「心豊かに たくましく生きる人間」や、学校づくりの指針「人がつながり ともに創る みんなの学校」という上位概念との関連ともつながりを感じる。
- ・保護者アンケートでも「豊かな心」、「自己肯定感」が重視されており、「自他を大切に」とある案1がよいと考えている。また「自ら考え 未来をつくる」は「主体的な学び」に通じる。
- ・一方、案4の「いっしょに探す」という言葉もよい。小学生の子供は漢字が並ぶと頭に入ってこない。「いっしょに探す」という言葉には、「協力する」、「相手を思いやる」、「チームとして考えていく」といったニュアンスもある。
- ・案4は子供にもよく分かるが、「何を」という目的語がない。例えば「明るい未来」、「明るい神戸」など何かあった方が子供も分かりやすいのではないか。
- ・自己を完成させることと、他者を理解することというのは、本来両立すべきものであり、両方のニュアンスが入っている方がよい。
- ・教育ビジョンは、幅広い関係者を想定しているものである。子供にもわかるということとは重要ではあるが、必ずしも子供に対しての言葉ではない。

(3) 基本政策について

○基本政策①について

- ・基本政策①の「新しい時代」はICT等を指すのかと思うが、少しわかりにくく、受け入れやすいフレーズになるとよい。
- ・必ずしもすべての施策が「新しい時代」とセットになっていない施策もある。従来の

施策で引き継いでいくべき重要なものもある。

- ・子供が主役というのは当然であるから、「これからの学び」といったシンプルな表現も考えられる。
- ・教職員が主役ではない、という意味でも「子供が主役の」をあえて入れることには意味があるのではないか。

○基本政策③について

- ・基本政策③の「一人一人」はひらがなの方がよいのではないか。語感に柔らかさがほしい。

○基本政策④について

- ・基本政策④は、文言の調整が必要である。「子供に向き合い寄り添う質の高い教育」としてしまうと、学習に関するコンテンツのように感じる。
- ・基本政策④については、先生方の働き方・現場環境の政策ということが分かる文言にした方がよい。

○その他意見

- ・基本政策に紐づく施策として「主権者教育」や「SDGs」という言葉も入っていると思うが、教育の内容に個別に入っていくとすべて書かなければならなくなるので、そのあたりの調整は必要かと思う。